

一般社団法人 スタークリーン&チャレンジドサービスいしかわ 教育講習会に向けたガイドライン(新型コロナウイルス感染防止対策)

令和2年12月10日
代表理事 杉本健一

1. 感染防止対策の徹底について

(1) 基本的な感染防止対策の実施

- 1) 検温の実施 : 受付で検温を行いエビデンス(記録)を残す
発熱(37.5度以上)がある場合は、参加を認めない
- 2) 手洗い・消毒の徹底 : 受付に消毒液を準備する
- 3) せきエチケットの徹底 : マスクの着用を徹底
予備は、準備するが基本は参加者で準備。

(2) 会場環境での留意点

- 1) ソーシャルディスタンスを保つため
十分な会場の広さを準備 : 2.を鑑み、会場の広さを選定
- 2) 常に換気を行う : 常にできない場合も、休憩ごとに換気を行う
(空調を利用した換気も可)
- 3) 机やイス、ドアノブ
等の消毒等 : 会場設備の使用前・使用後の消毒が必要
- 4) 共有物への消毒 : 講習会資料や器具など複数人で共有するもの
へのアルコール消毒を行う

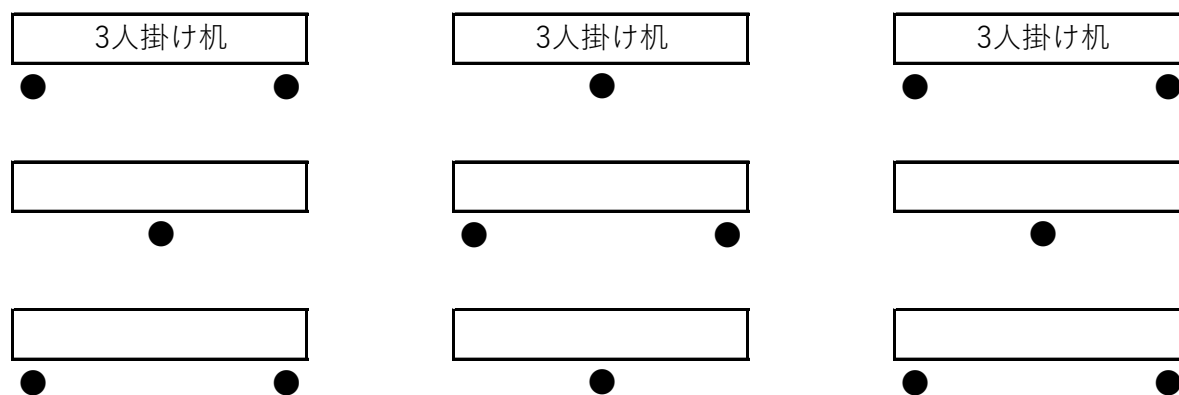
(3) スタッフへの対策

- 1) 検温の実施 : (1)と同様であるが、講師が参加できない場合の準備(交代講師)を行っておく。
- 2) 手洗い・消毒の徹底 : 受講生以上に感染リスクが高いことを認識する
- 3) せきエチケットの徹底 : 予備マスクを必ず準備し、忘れや破損時にも準備を怠らない
- 4) アクリル板
フェイスガードの使用 : 講師は、講義中必要に応じアクリル板やフェイスガードを使用する

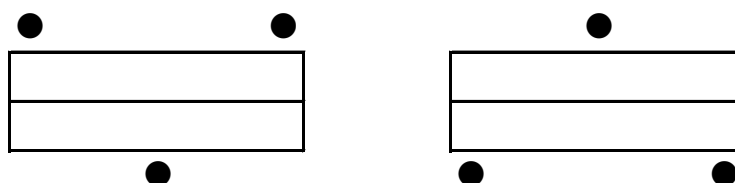
2. ソーシャルディスタンスの確保

(1) 会場レイアウト

- 1) 講義式レイアウトの場合は、受講生の横の席を一つ空けることとする
また、前後は重ならないように、斜めに配席する



- 2) グループ討議の場合は、1グループ3人までとし、1) 同様にレイアウトする



- 3) 講師と受講生の間は、1列分2mは確保する(最前列を空ける等)

(2) 実技講習でソーシャルディスタンス等

- 1) 使用した用具・器具(ポリッシャー・モップ類)は、使用した都度、消毒を行うこと
 - 2) 順番待ちの受講生の待機にも十分、注意をはらう
 - 3) 実技の際も講師と受講生の距離を保ち、消毒・手袋等を使用する
- 3)-1 実技講習の際は受講生同士のソーシャルディスタンスを保ち
受講生には、使い捨てビニール手袋を使用させ、講義を行う

3.その他の留意点

- 1) 感染防止の観点より、ドリンク等の提供はペットボトルで対応する
- 2) ごみ等は、必ず持ち帰らせる(エチケット的観点より、感染防止観点として)
- 3) 朝の受付時でも密にならないよう、誘導する
- 4) 手洗い場やトイレは、感染リスクが高いことを認識する。共有タオルも要注意
- 5) 受講生に対し、感染防止対策をしっかりと説明し、守らせること

※感染防止対策に向けて準備するもの

- ・ アルコール消毒液(手指用)
- ・ アルコール消毒液(備品用)
- ・ 非接触型 体温計
- ・ 体温計 (脇差タイプ)
(非接触型で異常値の場合に使う)
- ・ マスク
- ・ 使い捨てビニール手袋
- ・ 消毒用ウエス・ペーパータオル等
- ・ アクリル板またはフェイスガード
- ・ ゴミ袋

※検温の手順

- ①受付にて、受講生の額に向け、非接触型体温計を当て、検温する
- ②37.5度以上が確認された方は、改めて脇差タイプの体温計にて検温
この際に、必ず接触面を使用前と使用後に消毒する
- ③さらに37.5度以上が確認された場合は、お帰り頂く
また、同車両などで会場に来られた方も、お帰り頂くこと

※講習会開催にあたっての案内

講習会開催案内には、コロナウイルス感染防止対策の概略を明記し、受講で機内場合もある旨、しっかりと明記すること
また、受講の判断はあくまで自社・自己判断によって受講を行い、感染に対する責任は、負わないものとする

以上のことに留意して、開催の計画をお願い致します。